



値小だより

島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成30年7月20日 第8号
校長 酒井 元治

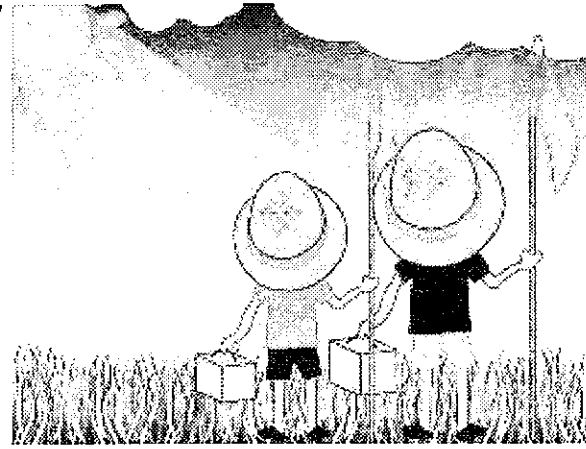
まずは命！

いよいよ、明日から夏休みです。1年生がついこの間入学し、今年度が始まったばかりのようですが、あっという間に夏休みになります。昨年同様全く同じ時期に西日本を襲った大雨、この一週間ほど毎日のように報道される「危険な暑さ」、そんな中での夏休み突入です。

4月から子どもたちの、がんばり、喜び、悔しさ、優しさ、いろいろな表情が見られた1学期でした。しかし、忘れられない、また、あってはならない悲しい出来事も起こりました。子どもたちにとっては前日まで教壇に立って授業をしてくれていた先生を、私たちにとってはいっしょに仕事をしていた同僚を突然に亡くすということについては、私自身の力の及ばぬ領域を見せつけられるとともに、人の命の儚さについても思い知らされました。「儚さ」なんて、一言で片付けてはいけないことは重々承知の上ですが、生と死は表裏一体、紙一重なんだと思いました。がんばりも、喜びも、悔しさも、優しさも、命があってこそです。

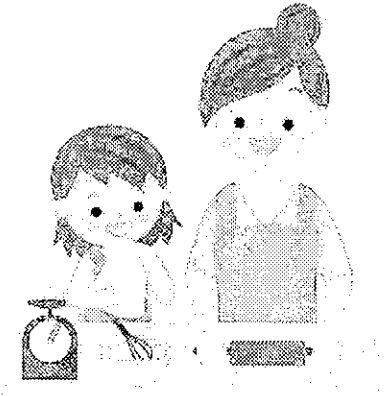
遠くタイではサッカー少年たちの世界をハラハラさせるような行方不明事件もありました。さらには、昨年度、お隣の宇久で夏休みに入った直後、5年生の児童が参加していたキャンプの海水浴でおぼれ意識不明の重体になるという事故が発生しました。

お願いです。学校でも事前に指導をしているところですが、子どもたちの命に関わるような事故やけが等がないよう、ご家庭での見守り、ご指導をお願いいたします。「2学期に始業式は絶対に元気に学校に来る！」これが最低限の約束です。



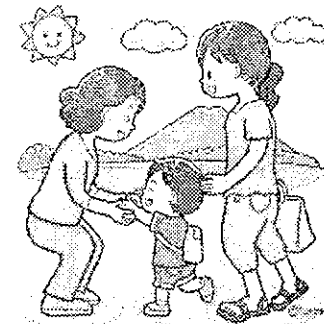
親子の距離を縮める夏休み！ 親子の距離をとる夏休み！

さて、9月最初の土日を含め今年44日の夏休み。当然、子どもたちがご家庭にいる時間が長くなります。まずは、いろいろなことをお子さんと話してみてください。海に泳ぎに行ったとき、ご家庭でおやつをつくる時、朝からお父さん、お母さんが仕事に行く前、夜寝る前、親御さんは当然仕事かもしれませんが、子どもたちは日頃より余裕があります。普段できない会話をして、いつも見ているお子さんとは違う姿を発見してみてください。つまらない会話でもいいんです。いつもより、親子の距離を縮める夏休みです。子どもたちの中にはダラダラとゲームをしたり、テレビを見たりする子もいるかもしれません。これも、親子で話して、ルールを決めてはどうでしょうか。大人が全て押しつける(ときにはこれも必要)のではなく、話し合ってみてください。



また、逆に親との距離を離すことで成長させる夏休みでもあります。親としての最低限で最終的な目標は、子どもの「自立」です。精神的にも、経済的にも一人前の大人として自立させる(親と同居するか、別居するかは別問題)ことが、親の務めと言えます。小学生であれ、年齢相応の「自立」を身につけながら成長していきます。一気に自立させては、子どもは暴発してしまいます。大人になったときの「自立」への練習が徐々に必要です。

お父さん、お母さんといっしょにしか外出できなかった幼児が、小学生になって一人で、近くの友だちのうちまで遊びに行く、近所の店まで買い物に行く、そんなことが「自立」の練習です。夏休みはこの「自立」



を大きく促すチャンス。おじいちゃん、おばあちゃんのうち泊まりに行くだとか、ちょっと離れた友だちのうち遊びに行く、自分の力でおかずやおやつを作ってみる、お子さんの実態に応じてですが、親からちょっと距離を離すことで夏休みに大きく成長したお子さんを見ることもできるかもしれません。

暗唱合格、表彰！



前回の値小だよりでお伝えしていたように、昨日(19日)暗唱テキスト合格者の表彰をしました。今回の表彰は、子どもたちに事前に知らせていたように7月13日までの合格者です。今週に入ってから合格者が数名いるのですが、これは2学期末の表彰になります。

暗唱テキスト合格者(各学年の基本テキスト)

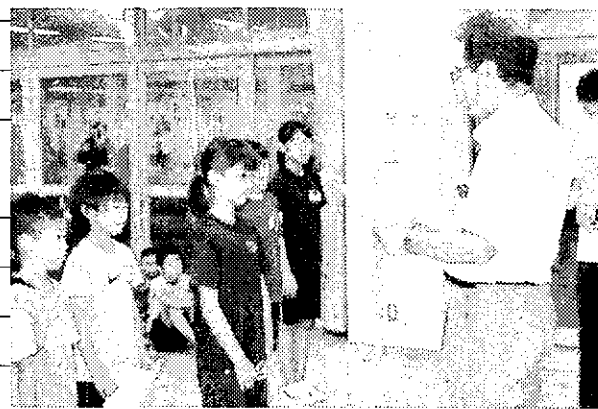
1年	高橋 千花 笹山 那奈	中村 希実 山元 穂花	畑村 莉子	松本 優世
2年	松原 悠斗 岩坪 沙樹	神崎 楓 富永 唯仁	三浦 珠里 松尾 廣栄	中野 夏希
3年	山田 愛 角永 太晟	田中 愛心海	松尾 帆香	羽山 紗矢
4年	高橋 徳臣	田中 瑠海		
5年	田中 海音	松本 我道		
6年	川口 優紀	前田 玲緒		

スペシャル名人(ちょっと難しいテキスト)

1年	高橋 千花	中村 希実
3年	田中 愛心海	
4年	田中 瑠海	
5年	田中 海音	

都道府県名人

1年	高橋 千花
3年	田中 愛心海
4年	田中 瑠海
5年	田中 海音



1学期を振り返って

終業式の学年代表の発表です。今回は1・2年生の代表作文を紹介します。

にゆうがくしてから

1ねん なかむら のぞみ

わたしは、にゆうがくしてから、いろいろなことをがんばってできるようになりました。とくにがんばったことがふたつあります。うんどうかいとあんしょうです。

まず、ひとつめのうんどうかいでは、かけっこおどりのれんしゅうをいっぱいがんばりました。ほんばんは、れんしゅうのせいかをだすことができました。

つぎに、ふたつめのあんしょうでは、まいにちあんしょうをがんばって、すぺしゃるめいじんになることができました。

あしたからは、なつやすみです。なつやすみには、まいにちしゅくだいをがんばって、うみでおよぐれんしゅうをしたいです。

そして、たのしくげんきににこにこして、2がっきをむかえたいです。



1学きの思い出とがんばったこと

2年 いわつぼ さき

きょうで1学きがおわります。

わたしは、たくさんの思い出ができました。その中で、運動会が一ばん心に残っています。かけっこで1ばんになれたからです。ダンスはにこにこキレキレで、おどれました。いえにかえったら、

「ダンス、上手だったね。」

と、ほめられてうれしかったです。

がんばったこともたくさんあります。一ばんがんばったのは、さんすうのひっさんです。まちがわないように、たすやひくのきごうをしっかり見たり、くらいをそろえて書いたりすることを気をつけました。テストでは百点がとれてよかったです。

夏休みは、かぞくで海に行ったり、バーベキューをしたりするのがとてもたのしみです。夏休みも思い出をたくさん作りたいです。

